

---

# ~ F i n e ~ 《終わりを見たいから》

水晶 インコ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

「」のPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『Finale』『終わりを見たいから』

〔二十一〕

N  
8  
7  
2  
7  
C

【作者名】

水晶  
インコ

【おひさま】

今、戦いの幕が開く。それは、人と人でないものとの戦いだつた

■ ■ ■ ■ ■

## プロローグ

月光だけが照らし出す闇。町明かりは消えうせて、何もかもが静まり返った世界。自分以外の生物も物も消えてしまったような、そんな雰囲気。

しかし、それを引き裂くような咆哮が、自分の後ろから激しく鳴り響く。夜闇を引き裂いて、光が走る。

終わらない……戦い。終わってくれない、戦い。FINを知らない。知ろうともしてくれない。

それは、人がそうなのではない。人以外の“モノ”がそうだったのだ。誰も、望んでいなくとも、それはやつて來た。

通信機が鳴り響く。それが、今いる自分への、参戦指示だった。

「水芭蕉機！攻撃態勢に移ります！！」

この戦争。いや、戦争というには少し抵抗があるが、これにこの青年。水芭蕉(みずばじょう) 晃旗(こひき)が身を投じたのは1年ほど前のことになる。

日本は“それ”的襲来により、北海道・東北地方が焦土となり、人間が今でも今まで犯してきたような汚染の歴史をはるかに凌駕する速度で壊れしていく。

鉄筋コンクリートで出来たビルが軋みを上げ、崩れ去る。アスファルトがまるで紙ぐずのように吹き飛ばされる。家だったものが瓦礫と化す。線路に停車していた電車が燃え上がる。

この歴史が始まつたのは、数年前のことだ。そのとき、始まりの当時は人間は“それ”に抗う力をまったく持たなかつた。

日本の自衛隊の誇る最高戦力を投入しても、それでもなお、“それ”は進行を止めず、人々が作りし剣を碎いていったのだ。

しかし、“それ”に抵抗する力を人類は手に入れることが出来た。

“それ”が進行を開始してから2ヶ月が経つころだ。

“それ”的科学名称がASSASSINY(アッセリヤ)と決まり、それが世間に浸透し始めた時の事だと記されている。俗称AY。人を狩りし天使達のい

名となつた。

それに抗うべく生まれた2脚歩行型戦闘兵器、テックスTee X、Sと呼ばれる機体の登場である。俗称TX。人類の存亡をかけて戦う戦士の名。

その力により、一時的にAYを殲滅する事に成功し、日本は一時的に復興していくことになった。一時だけの幸福な時間だつた。だが、復興の手が、北海道へと伸びた矢先、再びAYが発見された。それに対し、早急に自衛隊から名を変えた日本防衛軍の誇るTX、『夜叉』やしゃと、当時の最新型機の『仙狸』せんり『仙狐』せんこが応戦に向かつた。結果は惨敗。

AYが生物であるという事を、自惚れた人間達は忘れていたのだ。それらは生命体として、進化し、形を変え、今まで対人型に作られていたそれらを、対TX型へと形を変えて現れた。

戦闘になれた熟練兵達が瞬く間に撃破され、最新機の『仙狸』『仙狐』の設計見直しを国会が決定する事となる。

日本は、一回目の戦いを『第一次Assassiny大戦』、2回目を『第二次Assassiny大戦』と設定し、徹底抗戦を宣言した。

そして、今。水芭蕉という青年の戦いが幕を開けた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8727c/>

---

~Fine~《終わりを見たいから》

2010年12月11日02時51分発行